統計トピックス１

# 平成 22 年国勢調査
# 従業地・通学地による人口・産業等集計結果（大阪府分）

大阪府総務部統計課 人口･労働グループ

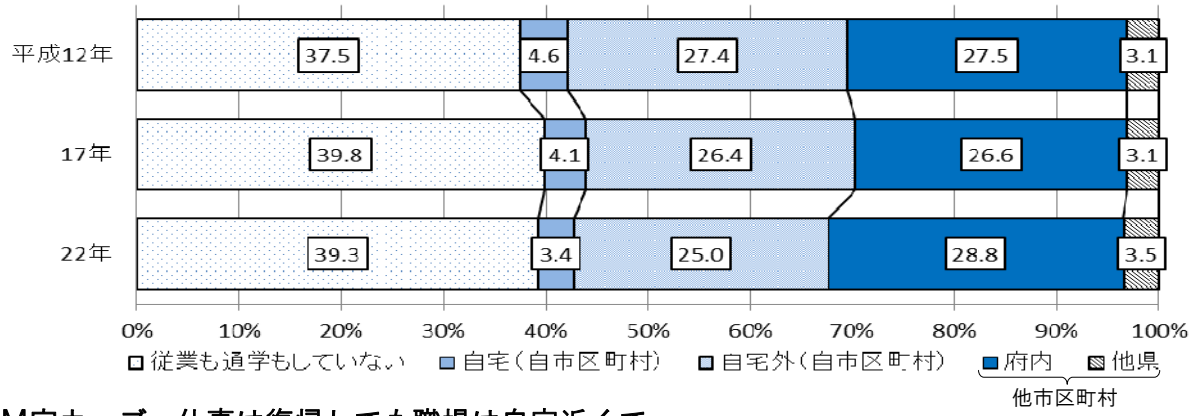
《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/top/kokucho10.html 》

平成 24 年９月 11 日に、平成 22 年国勢調査 従業地・通学地による人口・産業等集計結果(大阪府分)を取りまとめましたのでその概要を紹介します。

## １.従業地・通学地別人口　－自市区町村で従業・通学する者の割合は減少傾向－

大阪府内人口に占める従業地・通学地別の割合をみると、「従業も通学もしていない」が 39.3%、「自市区町村で従業・通学」が 28.4%、「他市区町村で従業・通学」が 32.3%となっており、「自市区町村で従業・通学」の割合は、調査開始以来最も低い水準となった。

**従業地･通学地別人口の割合の推移〔平成 12～22 年〕**

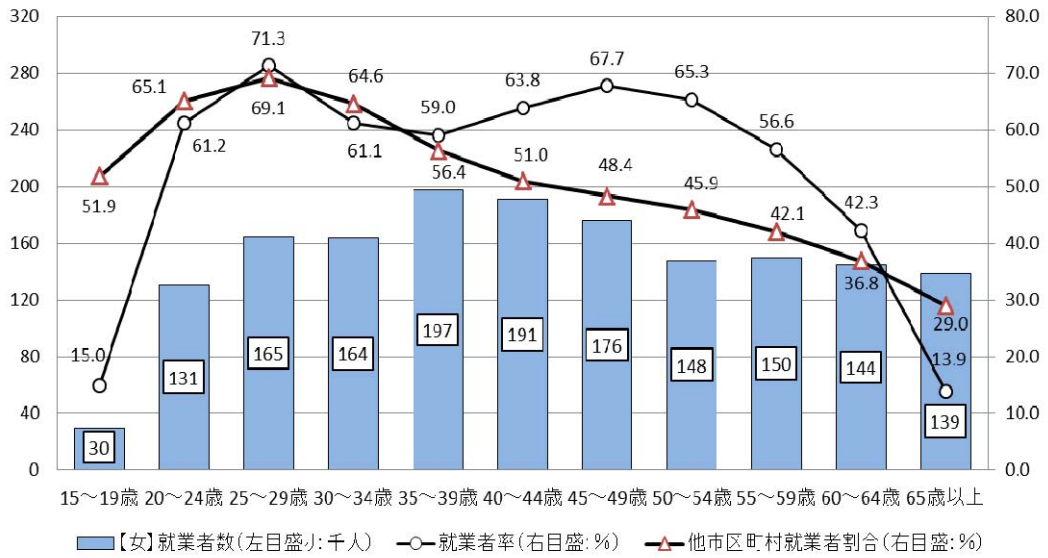



**★M字カーブ、仕事は復帰しても職場は自宅近くで・・・**

15 歳以上女性の就業者率を年齢５歳階級別にみると、グラフはM字カーブを描き、山は 25～29 歳と 45～49 歳で、谷は 35～39 歳となっている。

一方、「他市区町村」で従業する女性の割合は、就業者率と同様に 25～29 歳で最も高くなるが、年齢とともに低下しており、45～49 歳で就業者率は上昇しても、その従業先は「他市区町村」から「自市区町村」へと変化していることが見てとれる。

**女、年齢(5 歳階級)、就業者率と他市区町村就業者の割合〔平成 22 年〕**

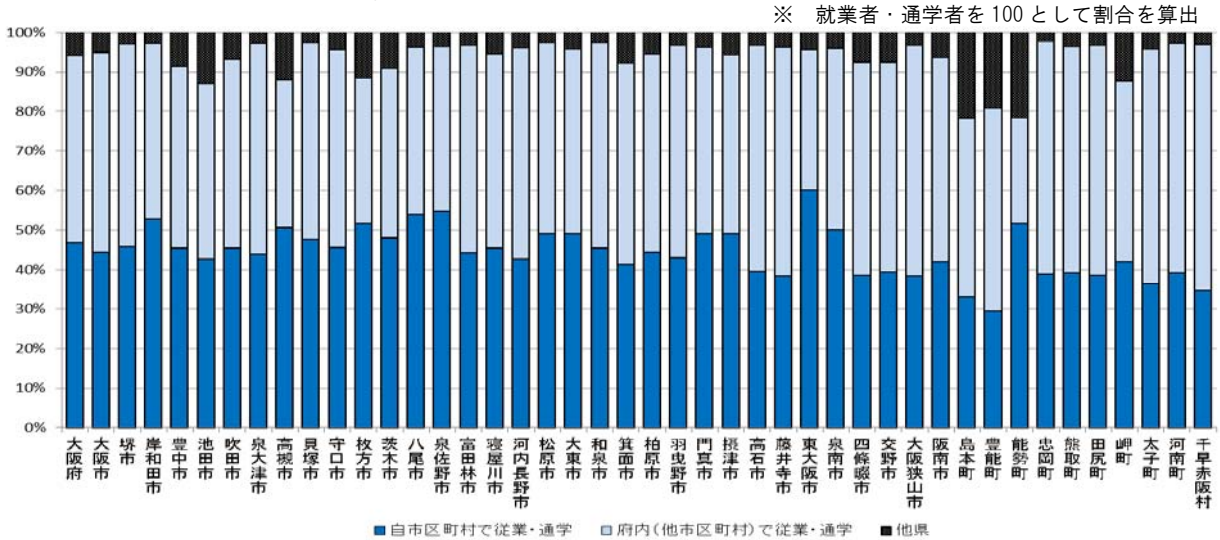


**－自市区町村で従業・通学する割合が最も高いのは東大阪市で６割－**

就業者及び通学者の従業地・通学地別の割合を市町村別にみると、「自市区町村で従業・通学」は東大阪市、泉佐野市、八尾市の割合が高く、「府内（他市区町村）で従業・通学」は千早赤阪村、太子町、忠岡町の割合が高く、「他県」では島本町、能勢町、豊能町の割合が高い。

**従業地･通学地別人口の割合(市町村)〔平成 22 年〕**

※　就業者・通学者を 100 として割合を算出

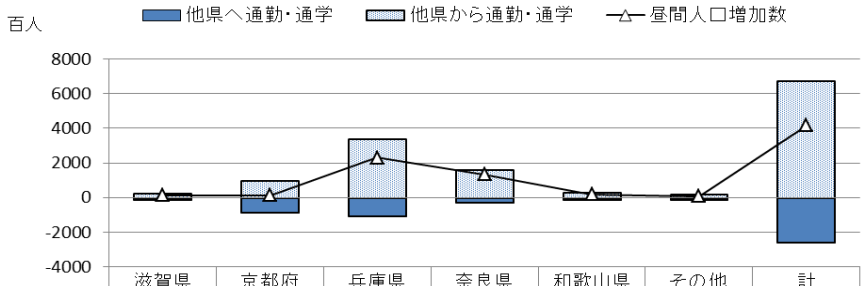



## ２．流入・流出人口　　－流入人口の約５割は兵庫県から－

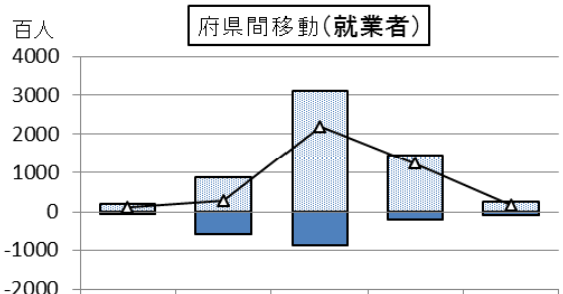
他都道府県から大阪府への流入人口は 67 万 2617 人、他都道府県への流出人口は 25 万 7303 人で、41 万 5314 人の流入超過となっている。

これを就業者、通学者別にみると、就業者では、流入・流出人口とも兵庫県が最も多く、通学者では、流入人口は兵庫県が最も多く、流出人口は京都府が最も多い。この結果、京都府の通学者については、流出人口が流入人口を上回る結果となっている。

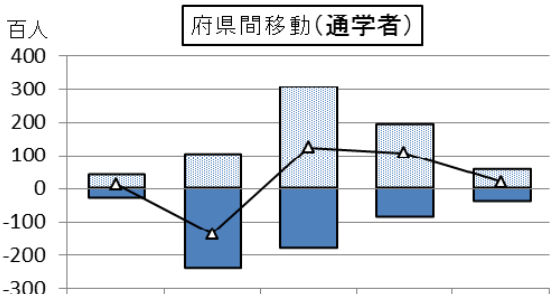
**流入・流出人口、就業者及び通学者（近畿府県）〔平成 22 年〕**




| | 滋賀県 | 京都府 | 兵庫県 | 奈良県 | 和歌山県 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 他県から通勤･通学 | 222 | 971 | 3391 | 1624 | 306 | 211 | 6726 |
| 他県へ通勤･通学 | -100 | -832 | -1083 | -286 | -126 | -146 | -2573 |
| 昼間人口増加数 | 122 | 139 | 2308 | 1339 | 180 | 66 | 4153 |




| | 滋賀県 | 京都府 | 兵庫県 | 奈良県 | 和歌山県 |
|---|---|---|---|---|---|
| 他県から | 181 | 867 | 3083 | 1431 | 249 |
| 他県へ | -72 | -593 | -899 | -202 | -89 |
| 増減数 | 110 | 274 | 2183 | 1230 | 160 |




| | 滋賀県 | 京都府 | 兵庫県 | 奈良県 | 和歌山県 |
|---|---|---|---|---|---|
| 他県から | 41 | 104 | 308 | 193 | 57 |
| 他県へ | -28 | -240 | -183 | -84 | -37 |
| 増減数 | 13 | -136 | 125 | 109 | 20 |

## ３．昼間人口、夜間人口、昼夜間人口比率

**ー大阪府の昼間人口は 928 万人で夜間人口を 41 万人上回るー**

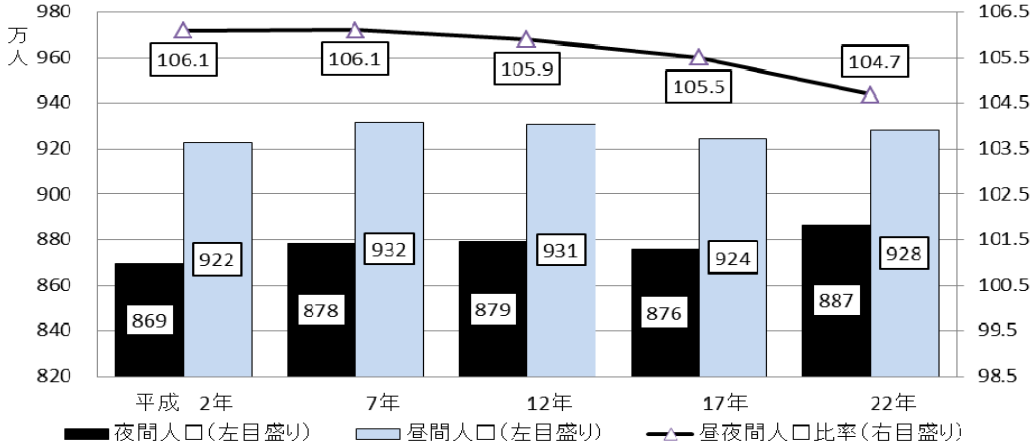
平成 22 年における大阪府の昼間人口は 928 万 560 人で、夜間人口（常住地による総人口 886 万 5245 人）を 41 万 5315 人上回っている。

また、昼夜間人口比率については 104.7 で、平成７年をピークに低下している。

**夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率の推移〔平成 2～22 年〕**

| 区　分 | 夜間人口（人） | 昼間人口（人） | 昼夜間人口の差（人） | 昼夜間人口比率 |
|---|---|---|---|---|
| 平成　2年 | 8,694,434 | 9,224,740 | 530,306 | 106.1 |
| 7年 | 8,781,295 | 9,318,312 | 537,017 | 106.1 |
| 12年 | 8,789,354 | 9,308,237 | 518,883 | 105.9 |
| 17年 | 8,759,033 | 9,241,468 | 482,435 | 105.5 |
| 22年 | 8,865,245 | 9,280,560 | 415,315 | 104.7 |

注）平成17年以前については年齢「不詳」を除く。



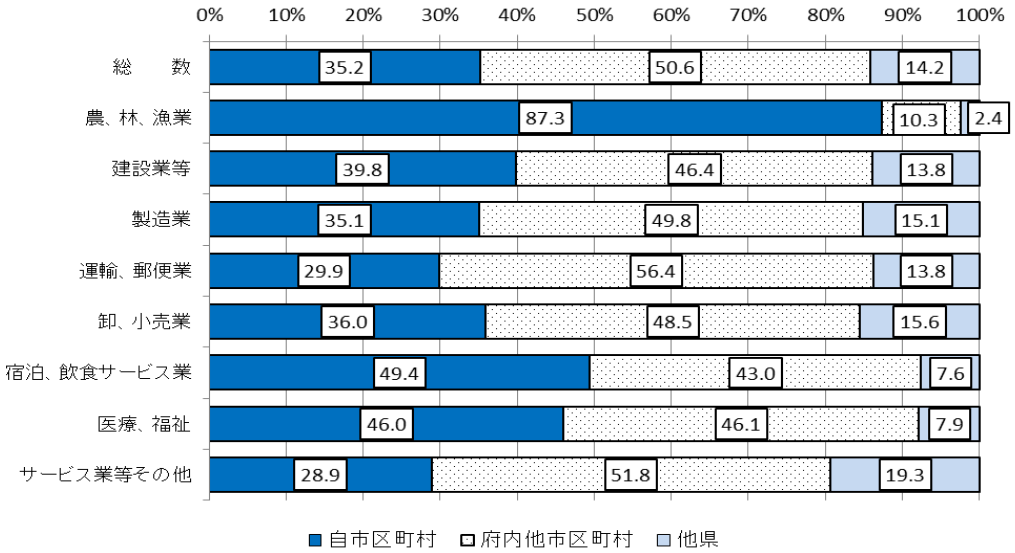

## ４．従業地による就業者（産業別）

**ー「宿泊, 飲食サービス業」、「医療・福祉」は自市区町村での従業者が多いー**

従業地による 15 歳以上就業者を常住地別の割合でみると、「自市区町村に常住」する就業者は 35.2%、「府内他市区町村に常住」する就業者は 50.6%、「他県に常住」する就業者は 14.2%となっている。

これを産業別でみると、「自市区町村に常住」で多いのは「宿泊，飲食サービス業」、「医療・福祉」となっている。

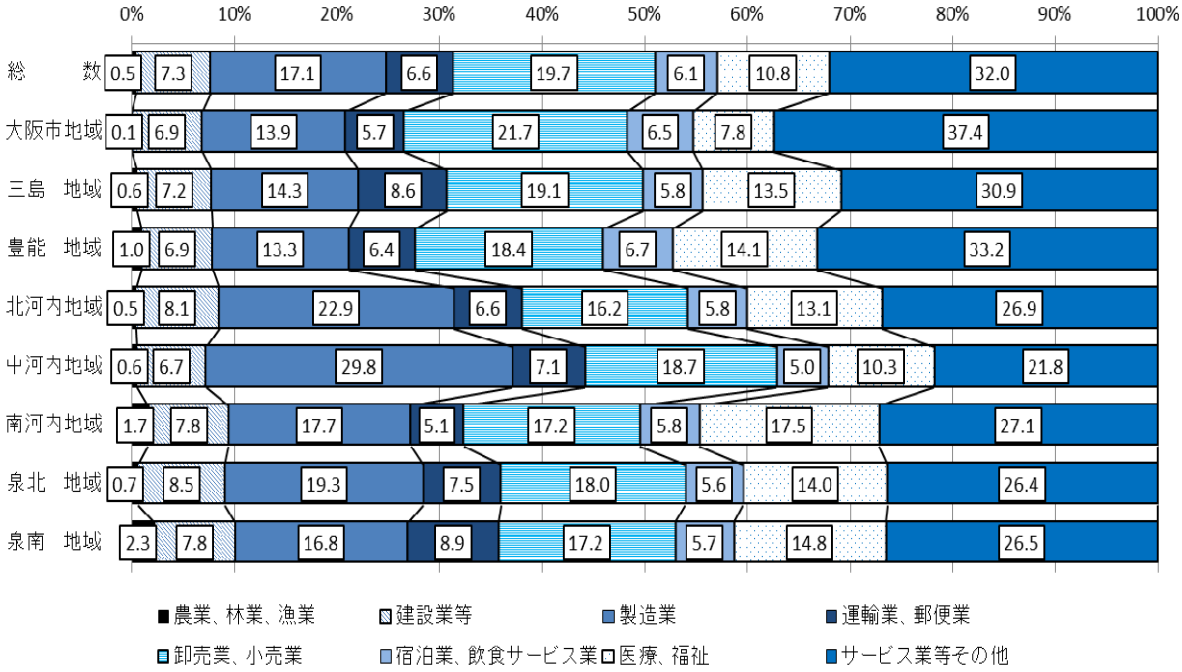
**従業地による産業（大分類）、15 歳以上就業者の割合〔平成 22 年〕**



**―「製造業」の割合では中河内地域で最も高く、「医療・福祉」の割合では南河内地域が最も高い―**

15 歳以上就業者の従業地による産業大分類別割合を府内地域別にみると、「製造業」では中河内地域、北河内地域が高く、「卸・小売業」では大阪市地域、三島地域が高く、「医療・福祉」では南河内地域、泉南地域が高くなっている。

**従業地による産業(大分類)、15 歳以上就業者の割合(府内8地域)〔平成 22 年〕**

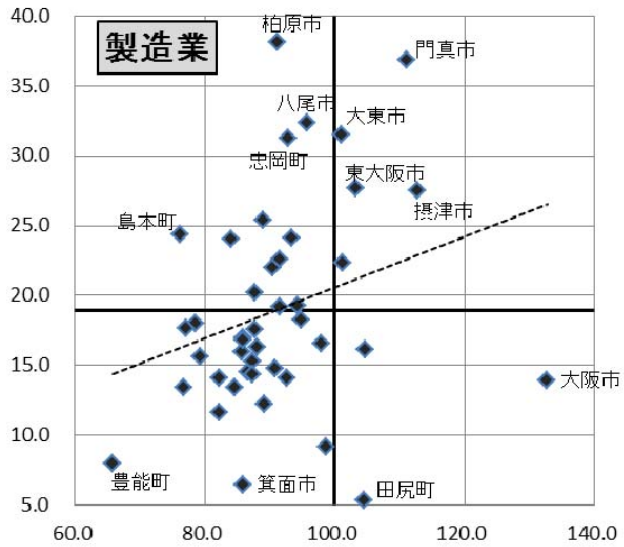


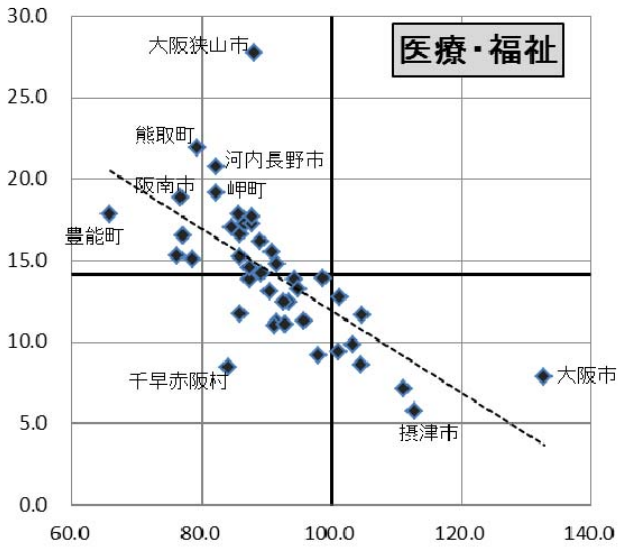

**★昼夜間人口比率と就業者の産業別割合は、「製造業」では比例、「医療・福祉」では反比例の関係に**

昼夜間人口比率と産業別割合の相関をみると、昼夜間人口比率の高い市町村が「製造業」に占める割合が高い傾向にあり、昼夜間人口比率の低い市町村が「医療・福祉」に占める割合が高い傾向にある。

ただし、大阪市中央区に代表されるように、昼夜間人口比率は、産業にかかわらず事業所等の集積により高くなるものであり、「製造業」を例とした一種の「分布図」としてご覧ください。

「医療・福祉」については、その割合が高いから昼夜間人口比率が低いのではなく、人口の流入をもたらすような産業が少ない市町村では、相対的に「医療・福祉」の割合が高くなっていると考えられる。




注）横軸が昼夜間人口比率、縦軸が産業構成比
横軸の太線は産業構成比の府平均を示すが、平均値は各市町村の単純平均である。

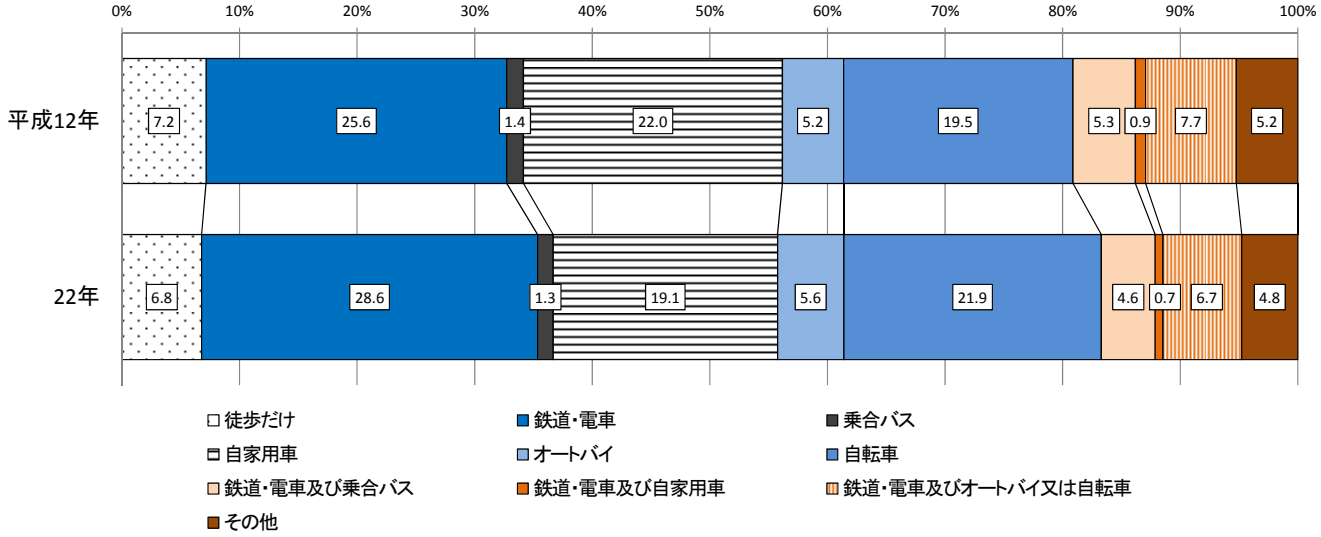
## ５．利用交通手段　　―「鉄道・電車」のみに次いで「自転車」のみの割合が高い―

15 歳以上自宅外就業者・通学者の利用交通手段別の割合をみると、「鉄道・電車」のみが 28.6%と最も高く、次いで「自転車」のみが 21.9%、「自家用車」のみが 19.1%などとなっている。

これを平成 12 年と比較すると「鉄道・電車」のみが 3.0 ポイントの上昇、「自家用車」のみが 2.9 ポイントの低下、「自転車」のみが 2.4 ポイントの上昇などとなっている。

また、平成 22 年の利用交通手段の状況を市町村別にみると、「鉄道・電車」のみでは島本町、大阪市、吹田市が高く、「自転車」のみでは門真市、守口市、東大阪市が高く、「自家用車」の利用者では能勢町、千早赤阪村、河南町が高くなっている。

利用交通手段、15 歳以上自宅外就業者・通学者の割合〔平成 12、22 年〕




利用交通手段別市町村ランキング〔平成22年〕

| 順位 | 鉄道･電車のみ利用者 | | 自転車のみ利用者 | | 自家用車利用者 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 市町村 | 割合(%) | 市町村 | 割合(%) | 市町村 | 割合(%) |
| 1 | 島本町 | 41.2 | 門真市 | 34.2 | 能勢町 | 70.7 |
| 2 | 大阪市 | 36.4 | 守口市 | 32.4 | 千早赤阪村 | 61.5 |
| 3 | 吹田市 | 36.1 | 東大阪市 | 30.6 | 河南町 | 53.4 |

※政令指定都市・人口30万人以上の市（大阪市・堺市・豊中市・高槻市・吹田市・枚方市・東大阪市）にお住まいの方は、インターネットによる回答も選択できます。

調査の詳細は大阪府ホームページに掲載しています。http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/chousa/shuugyou.html